



CBC NEWS

2011年5月号

中央聖書神学校



息吹 Vol. 41



神学校教育の原点

中央福音教会 佐布 正義師

「わたしはこの基盤の上にわたしのエクレシア(生命共同体)を構成する(マタイ一六章一八節)。」主イエス・キリストは、受肉の目的を明らかにしておられます。

そして、復活された主は、最後にご自身をサウロに顕されました。そして、この目的のために彼を召し、使徒の務めに任じられたのです。新生したパウロは、三次に渉る宣教活動により多くのエクレシアを構成しました。

エペソに於ける奉仕は二年に及びましたが、その間、小アジア出身の人物が福音に接し、自分の町コロサイへ戻り福音を伝えました。その結果、主の召しに応じる群れが起されました。

「コロサイにいるキリストの聖徒たち(一章一節)の誕生です。」

しかし、この群れはすぐに大きな問題に直面しました。この地域の生活文化の中にあつた異教の攻撃です。ユダヤ主義、グノーシス思想、神秘主義、天使礼拝への誘いなど伝道者エパfrasの手に負えない事態でした。そこで、師であるパウロが鎖に繋がれていたローマへ同じ行程二〇〇〇キロを向かったのです。

「キリストの名のために捕らわれの身の使徒の神学校」で自らも捕らわれの身となつて学ぶためでした。エパフロスが学んでいる間に、テキコによつてコロサイに届けられたその教えの一部の記録が、コロサイ書簡です。



ブログ『たかどの』開設



いつも皆様のお祈りを感謝致します。

これまで CBC ニュースにおいて神学校の様子などをお伝えてまいりましたが、より一層神学校を皆様にご知っていただく為にブログを開設致しました。授業の様子や学生の伝道活動など、タイムリーにアップしてまいります。ぜひご覧ください! (3年 高山)

ブログはこちらからご覧になれます。

<http://takadonocbc.blog96.fc2.com/>



二〇一一年度 中央聖書神学校 入学式

二〇一一年四月六日(火)多くの出席者の中、とりなしの祈りと御言葉による力を受けた九名の献身者が駒込の山を登り、新しいスタートを切りました。

(三年 高山)

新入生氏名(出身教会)

本科

市川 信也 (神愛基督教会)

倉田 典子 (浜松キリスト教会)

簡子晏 (中央聖書教会)

福井 美由記 (和泉神愛キリスト教会)

藤本 かおり (名古屋神召キリスト教会)

通信科

杉浦 勉 (大和リバイバル教会)

玉山 圭吾 (中央福音教会)

林 由佳 (尼崎神召キリスト教会)

和田 尚子 (八王子シャロン教会)

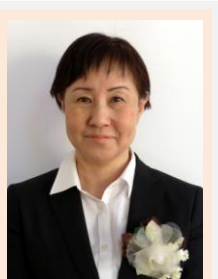
本科生 献身の証



市川 信也

小学五〜六年生の担任のことで問題を抱えていた私は五年生の夏キャンプで受霊。六年生の時に主が働かれ問題が解決。抛り所を得た私は、牧師になり伝道したいという願いが起されました。月日は流れ、大学四年の夏休みにオーストラリアのHILLSONGに行き、献身を決意しました。より通り良き管となる為に、主は社会で働く機会を与えて下さり、その時にピリピ人への手紙二：十三の御言葉が与えられました。小学六年生に起こされた願いを払拭できないことに気付かされ、一度きりの人生、主に仕えていこうと思いました。

小学五〜六年生の担任のことで問題を抱えていた私は五年生の夏キャンプで受霊。六年生の時に主が働かれ問題が解決。抛り所を得た私は、牧師になり伝道したいという願いが起されました。月日は流れ、大学四年の夏休みにオーストラリアのHILLSONGに行き、献身を決意しました。より通り良き管となる為に、主は社会で働く機会を与えて下さり、その時にピリピ人への手紙二：十三の御言葉が与えられました。小学六年生に起こされた願いを払拭できないことに気付かされ、一度きりの人生、主に仕えていこうと思いました。



倉田 典子

私が主イエス・キリストの救いを受け取った十六年前。その直後、主は私を荒野の訓練に送りだされたのです。

それはあまりにも苦しい道のりでした。しかし聖霊様によつてここまで守り導いて下さいました。信仰から離れそうになった時もありましたが、改めて献身の強い思いが与えられ、幻をもつて示されたこともあり、祈りに励まされ今に至ったのです。



簡 子晏

台湾出身の簡子晏です。そのまま漢語読み「ジャンツァン」でも日本語読み「カン シェン」でもどちらでもOKです。CBCへの入学は四年前から熱望していました。留学生ビザの事もあり、ようやくの思いで駒込山の山頂に登り着きました。ずっと九合目(母教会の中央聖書教会)で待機しながら、同じく福音派の東京基督神学校で修業を積み、この日がやってくるのを待ちわびていました。主なる御神の聖名を頌め称えます！主は真理、道、いのち。これからのこともすべて主に委ねきつてまいりたいです。

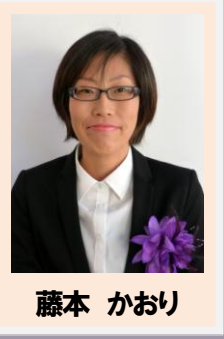
台湾出身の簡子晏です。そのまま漢語読み「ジャンツァン」でも日本語読み「カン シェン」でもどちらでもOKです。CBCへの入学は四年前から熱望していました。留学生ビザの事もあり、ようやくの思いで駒込山の山頂に登り着きました。ずっと九合目(母教会の中央聖書教会)で待機しながら、同じく福音派の東京基督神学校で修業を積み、この日がやってくるのを待ちわびていました。主なる御神の聖名を頌め称えます！主は真理、道、いのち。これからのこともすべて主に委ねきつてまいりたいです。



福井 美由記

中学生の頃に救われ、献身の想いが与えられましたが、進学し、社会人になるにつれ、世の波にもまれてしまい、せつかく与えられたビジョンを意識

しない時もありました。ところが、社会人生活を堪能していたある日、突然の叔父の死を経験しました。その時、人の言葉には励ましや慰めがあつても、そこに福音が入らなければ救いはないことをはつきり思われ、今こそ、この福音に急ぐものになりたいと思いました。献身の決心にあたり、与えられた御言葉であるヨハネ十二：二四をしっかり握り、フルタイムよりも、フルタイムの献身を学んでいきたいと思えます。



藤本 かおり

ハレルヤ！主の御名を賛美致します。
教会を離れていた時期、教区聖会の「働き人が足りない」というメッセージに「私も

神様の役に立てるのだろうか？」と祈りの中で真剣に考えている自分がいました。献身の招きの都度本当に私が立つても良いのですか？」と聞いていたのを思い出します。前進できない時もありましたが、今は学ぶ事が出来る恵みに与かっています。それは、先生方や支えて下さった兄弟姉妹の祈りを、主が聞いて下さった事に他なりません。ただ、主の御声に聞き従って生きていきたいと願い、恵みを数える日々です。すべてを感謝します。

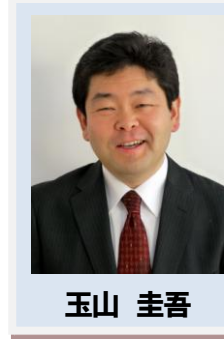
通信科生 献身の証



杉浦 勉

二〇〇八年八月、私と兄は白馬岳を登り終え、重い脚を引きずって、実家に戻りました。顔色が良くないと言われ、体温を計

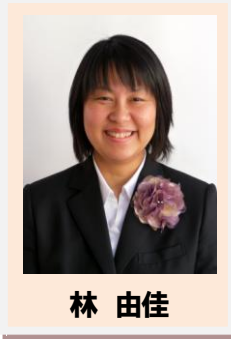
れば四二度以上の高熱。救急で運ばれ、急性肺炎で緊急入院。個室に入れられ、絶対安静となりました。ベッドの上で神様との会話が始まりました。二〇代後半に召しを与えられ、三十年間断り続けてきましたが、この時「はい。わかりました。従います」と素直に応答することが出来たのです。神様から与えられた献身の御言葉は、一テモテ二：一七です。



玉山 圭吾

私は洗礼を受けて三二年になります。が、九年前までは生ぬるい信仰者でした。しかし不思議な導きで八年前に母

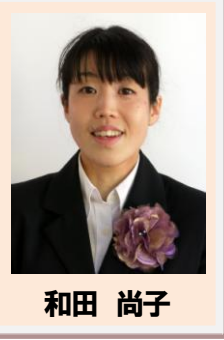
教会でゴスペルミニストリーが始められ、準備段階から責任者として関わることになり、生ぬるい信仰が徐々に練り上げられていきました。ゴスペルを賛美する事をきっかけとして多くの魂がイエス・キリストに出会い、人生が変えられていくのを間近で見、そのための橋渡しをさせて頂くにつれ、聖書真理を正しく深く学ぶ必要に迫られました。社会人と実践伝道の経験を生かし、日本の救霊の為に用いて頂きたいと願っています。



林 由佳

主の尊い御名を賛美いたします。二〇一一年四月六日、間に合わないかと思つた桜が咲き始めた日、私は中央聖書神学

校通信科に入学いたしました。通信科の受験日前日、あの未曾有の東日本大震災が起り、試験は延期となりましたが、一旦自宅のある上海へもどらなければならぬことが、無念でなりません。後日、延期をしていた試験を再度「無きに等しい者」のため備えてくださり、入学を許してくださいました。誇るものは主を誇れ（一コリント一：三二）ただ主の救いのため用いられる者に造りかえられますようにと願っています。



和田 尚子

「恐れるな。わたしがあなたを贖つたのだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたはわたしのもの。」

イザヤ四三：一「主と共に生きたい。主のために生きたい。主の愛を伝えるために生涯を捧げたい。」と願っている中で、「わたしに従って来なさい」という声に呼ばれるかのように神学校に導かれました。これから、神学生としての学びを通して、自分を捨てるとはどういうことか、主と共に生きるとはどのようなことかを、じっくりと、失敗を重ねながら学びたいと思います。日々お祈りして下さっている皆様にご心より感謝申し上げます。





二〇一〇年度 卒業式

三月一〇日(火)第六一回卒業式が行われ、一〇名の方々が卒業し、それぞれの地へと遣わされていきました。その先生方に、今後の抱負を伺いました。

(二年 田原)

祝！卒業！

〔本科〕

◎ 杉本 茂謙 師 千葉福音キリスト教会

主の御名をあがめます！福音を宣へ伝えるために中央聖書神学校に入学し、学びと訓練を経て卒業いたしました。これからがいよいよ本番です。

ここで学んだことを基に、少しずつ経験を重ね、福音宣教に励みたいと願っています。引き続きお祈りをお願いします。

◎ 森下 真理子 師 三木アガペー教会

【難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことを面白く】主のみ言葉をお伝えすることを目指していきたくと思っています。主と共に一歩ずつ伝道者の道を歩み続けていきます。お祈りと励ましを心から感謝します。

◎ 毛利 佐保 姉 単立 亀有教会

他教団の委託神学生でしたが、分け隔けなく学びと訓練の時を与えていただき心より感謝いたします。卒業後は母教会で、仕えながら進学いたします。ここでの学びや今後の学びが日本の福音宣教に役立つ事を信じて歩みます。

◎ 立木 秀和 師 紋別神召基督教会

私は、日本が同じ意見を持つ者同士が集まり易い社会であることを踏まえ、一人一人の意見を肯定的に捉えつつ、その意見が聖書の神様へと繋がれば、それを糸口として伝道する、「包み込む伝道」を推進していきます。

お祈りとご協力に感謝！

中央聖書神学校後援会会長

多田 睦夫



早いもので、二〇一一年も五月を迎えました。三月に卒業式、四月には入学式が行われ、訓練に与る新しい学生が加えられました。救霊の戦いに働き人を送り出させて頂くことは、校長をはじめ、学校理事たちも、教師たちも喜びとするところです。この中央聖書神学校の存在は、教団の宣教力アップに貢献すること大であります。

しかしながら、その経営は決して容易ではありません。後援会では、すべての会員の方々のご協力を頂いてまいりました。二〇一〇年度には二〇万円を捧げましたが、二〇一一年度は倍額を捧げたいと祈り、願っております。そのためには、会員の倍増がどうしても必要です。今回、納入頂きました法人会員名、個人会員名を掲載させて頂きました。是非、会員が倍増しますようにご協力を宜しくお願い申し上げます。また、後援会の働きとして、関東地区を中心としてボランティア制度を設け、人的協力も始めました。さらに、神学校のために貴重な本をご献本頂ける方々がおられると聞き、後援会が受け皿となつて、図書を充実させるためにも励んでいきたいと願っております。これからも後援会のために、お祈り、ご協力をお願いします。

〔通信科〕

◎ 佐藤 誠師 武蔵野基督教会

お父さんが元気に働くことで日本が明るくなります。お父さんがその役割を果たすことで家庭が明るくなります。そんなお父さんたちが主に立ち返り、笑顔と活気あふれる教会を築いていきたいと思っています。

◎ 正岡 いずみ師 上市クリスチャンセンター

「私に出来ることを精一杯、後は主の成される」と「遣わされる地で主が何を成されるのか、兄弟姉妹と共に祈って主に期待してまいります。「神と共に生き、人と共に生きる教会を目標に祈り励み奮闘します。お祈り下さい。」

◎ 米田 秀人師 横浜三春台教会

この社会に真の喜びがあるのでしょか。「喜べ」と力強く命じるイエス・キリストに「喜び」のない私たちが近づき、その愛と力に触れるとき体のうちから湧き上がる「喜び」を体験できます。聖霊様の助けと導きを祈ってまいります。

◎ 藪内 裕子 姉 藤沢福音キリスト教会

心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くして、神と人を愛して歩んでいきたいと思えます。具体的に、は、交わり、祈りを通して兄弟姉妹を愛し、ゴスペルミュージック、賛美を通して福音の窓口となるように活動していきたいです。

〔関西分校〕

◎ 石塚 恵美子 師 門真キリスト教会

関西分校で教えられたこと、神様がどこまでも共におられ、支えられていることを胸に自分の十字架を背負って主のあとに従いたいと思えます。人々が福音にふれ神の愛に生きるよう祈りつつ、地域に根ざした伝道牧会をしていきたいと思えます。



左上から

毛利姉、正岡師、藪内姉、石塚師、森下師

左下から

立木師、成尾兄、杉本師、佐藤師

中央聖書神学校 主要年間予定

本科 入学式 四月五日(火)

前期 四月五日(火)～七月一六日(土)

聖別会 四月六日(水)～七日(木)

開校記念会 六月一五日(火)

夏期実習 七月一七日(日)～八月二九日(月)

教師研修会 七月二一日(月)～二三日(水)

研究科 七月二九日(火)～七月三〇日(土)

後期 八月三〇日(火)～二月三日(土)

聖別会 九月二日(金)

後期始業 九月六日(火)

オープンキャンパス 九月三日(木)

早期受験 一月一日(火)

冬期実習 一月四日(日)～二〇二二年一月二〇日(金)

研究科 一月一〇日(火)～二日(土)※

ブロックセッション 一月二四日(火)～三月二日(土)

第二ブロック 一月二四日(火)～一月四日(土)

第一ブロック 一月七日(火)～一八日(土)

一・二年度入学試験 一月二二日(火)

第三ブロック 一月二二日(火)～三月二日(土)

卒業祝会 三月二日(金)

卒業式 三月六日(火)

関西分校 開講式 四月一日(金)

前期 四月五日(火)～九月二〇日(火)

後期 一〇月四日(火)～二〇二二年三月一日(金)

ろう者聖書学校 入学式 四月四日(月)

通信科 開講 四月五日(火)～二〇二二年三月二九日(木)

一学期 八月一日(月)～二月三〇日(水)

三学期 二月一日(木)～三月三日(土)

東日本大震災支援活動報告

3月11日午後2時46分。マグニチュード9.0という世界最大級の大地震が起こり、津波被害と原発事故が加わり未曾有の災害が生まれました。教団の災害対策本部と神学校の指示を仰ぎながら、今回私達神学生も被災地へ行き、現地で先の見えない支援に参加いたしました。私達が行ったことはほんのわずかですが、これからも被災者のために祈り、私達のすべきことを継続していきます。

(二年 田原)



3/14-16
新潟、山形に物資運搬



3/29-31
東松島赤井地区にて復旧作業



3/29-30
いわき市にて給水作業



3/30
いわき市と郡山に物資を運搬



4/11-15
七ヶ浜ボランティアセンターにて



5/2-4
七ヶ浜 全壊した個人宅にて

物資仕分けの証し

私たち神学生は、全国各地の教会から送られてきた物資を災害本部の指示のもとに仕分け作業をいたしました。色々な教会からボランティアの方が来て下さり、共に作業する事もありました。一日中物資と向き合い仕分ける度に、人の温かさに感動し、多くの人の祈りや応援する思いを感じました。それを目の前に私自身が励まされ、主に感謝いたしました。東日本の人々になくさめと平安を祈りつつ、これからの主の働きに期待いたします。

二年 山城良美



災害本部にて仕分け作業



コンテナからの物資下ろし

関西分校

関西分校はこの春、新制度への改編後、二人目の卒業生を伝道の現場に送り出しました。現在、来春卒業予定の神学生が、各教会において献身的に奉仕をしている信徒聴講生たちと共に熱心に勉学と訓練に励んでいます。

神学校における分校の位置づけは、教会を例にとると分かり易いかと思われまふ。大規模な教会になりますと、まず本教会での礼拝があります。が、距離的な関係で本教会に出席することが困難な信徒は分教会(ブランチ)で、正規の伝道者の指導のもとに礼拝を守ります。そしてもつと遠い所に住む信徒は本教会の礼拝をインターネットで受信して個人礼拝を守ることになります。CBCは駒込の本校が本教会、分校がブランチ、通信科がインターネットによる個人礼拝にあたります。関西分校は大阪・桃谷の専用教室で夜間週三日、二教科

ずつを四年間で学び、本校同様、九六単位を履修して卒業となります。分校は、講師による対面授業が緻密な学びを可能にし、十名内外の聴講生を交えての授業が刺激と活気を生み出すというところが特徴といえます。



通信科

二〇〇八年四月の開講から三年。今春、初めての卒業生を送り出すことができました。多くの先生方、信徒の皆様には祈られ励まされ、ひとつの実を見る事ができたことは、運営委員会、制作スタッフそして何よりもそこで学ぶ学生たちにとっての喜びです。皆様のお祈りを感謝いたします。通信科での学びの最大のメリットは、今まで通り社会生活をしながら学びができるこ

とです。勿論、今までの生活に学習時間を加えるわけですから時間の使い方は大きく変わります。通勤時間に読んでいた新聞を教科書に、食後の家族との時間を授業視聴に、土曜日の休みを期末テストにと。しかし、近い将来自分が遣わされる社会の中で学びをすることは意味深いものがあります。入学時には予想もしていなかった社会や生活の変化に対処しつつ、与えられた召しを信じ学び続けることは実践的な訓練となります。通信科の学生は三年から六年の期間で自分の状況に合わせ、その決意を履修計画に表します。その目標に向かってチャレンジできるようお願い頂ければ幸いです。

今後、通信科では伝道者育成以外の働きとして、授業やセミナーなどのコンテンツをインターネット配信によって多くの方々にご覧頂き、学びの機会を提供していきたいと考えています。どうぞご期待下さい。



Central Bible College
i-class

●中央聖書神学校本科・通信科 問い合わせ先●

〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20

Tel. 03-3918-4925 Fax. 03-3918-4064

(本科) <http://www.cbc-j.ac.jp/>

(通信科) <http://www.cbc-j.ac.jp/iclass/>

2011年前期授業担当教師

- 火曜日
 - ヘブル語 I a、II ハムス・ダビデ 師
 - 神学通論 船津信成 師
 - 新約研究II (使徒行伝) 船津信成 師
- 水曜日
 - 旧約聖書通論 安田真 師
 - 新約聖書通論 野川悦子 師
 - ギリシャ語II 白石信之 師
 - 組織神学II (神・人間) 菊地和博 師
 - 教会音楽通論 三上かをり 師
 - 組織神学IV (聖霊・天使) 菊地和博 師
 - 牧会カウンセリング 野川悦子 師
- 木曜日
 - ギリシャ語 I a ハムス・ダビデ 師
 - 教会史 I 三宅規之 師
 - ペンテコステ運動の諸課題 三宅規之 師
 - 伝道の神学 久保田潔 師
 - 聖書神学通論 ハムス・ダビデ 師
 - 日本教会史 鈴木正和 師
- 金曜日
 - 英語 I 高橋恵子 師
 - オリエンテーション 和田佳士 師
 - 説教 I 菊山和夫 師
 - 教会規則 細井真 師



静心

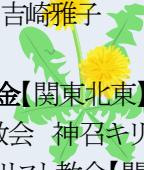
東日本で大地震が起き、日本各地から多くの救援物資が神学校に届いた。その物資をトラックで届けた。避難所には各地から多くの物資がすでに届いていた。避難所の責任者は「物資はほとんどもう足りていますよ」と言った。しかし荷台を開けると、何秒間か静かに見つめ、振り向いてこう言ってくれた、「ありがとう」。そして、物資を受け取ってくれた。側面にペンで中身が細かく書かれ、物資が丁寧に詰め込まれた箱は、東北の人々に対する「がんばって」という熱いメッセージで満ち溢れていた。自分を思うのではなく、人のことを思うことは美しい。 三年 森本亮介

献金者ご芳名 (2010年10月~2011年3月)

一般献金【団体】(敬称略) 天塚キリスト教会 嘉手納アッセンブリー教会 株式会社ヨーゼフ 仙台神召基督教会 東京陽光基督教会 福山キリスト教会 御影神愛キリスト教会 芦屋会堂 横須賀キリスト教会

【個人】池田澄子 井上寿美江 岩本レイ子 上石芳江 大野弘頼 加川俊一 北野耕一 小嶋綾子 斎藤貞治 酒井多満枝 桜井剛 佐藤潤子 田中友美 立木秀和 田中義弥 棚田俊雄 平井美江子 松本俊子 円山茂治 三宅規之 吉崎雅子 和田喜久夫

ダビデの石奨学金献金【関東北東】狭山キリスト教会 中央福音教会 神召キリスト教会 【関東南西】武蔵野キリスト教会【関西】尾崎キリスト教会 南紀キリスト教会【四国】中村福音キリスト教会【九州】佐伯聖書キリスト教会 【個人】田村伸治(希望キリスト教会)



CBCNEWS

—2011年5月号—
広報部

田原聖二 高山咲
森本亮介 新井晴美
藤本かおり 倉田典子
編集責任者：野川悦子師
事務局：中央聖書神学校

編集後記

今回の大震災でCBCニュースにおいても内容やスケジュールに大幅な変更がありましたが、この紙面を通して全国諸教会の皆様、神学校の活動や神学生達の様子をお伝えすることができることを感謝いたします。今年から学生ブログ「たかどの」も始めました。より一層、CBCを皆様に知って頂ければと願っています。

広報部 田原聖二

